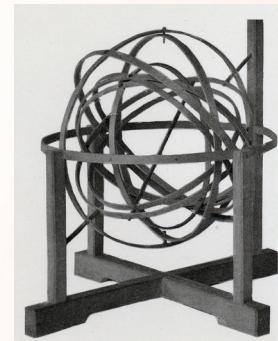


2017-2018 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter



【伊能忠敬翁 書斎】



【伊能忠敬使用した測量器機】



【伊能忠敬記念碑(函館山山頂駅舎壁面に有)】

日本で最初に実測図を作ったのが伊能忠敬であり、幕府の命令をおびて全国を測量した際、蝦夷地から始め、寛政12年(1800年)5月、函館山に登り測量を開始したのがスタートである。



国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度ガバナー 国立金助

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011) 207-2510 FAX(011) 207-2512

E-mail : rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2017-2018年度国際ロータリーのテーマ
「ロータリー：変化をもたらす」



**国際ロータリー第2510地区
2017-2018年度地区目標**

1. 世界ポリオデーの支援

あと少しで我々ロータリアンは「ポリオ撲滅達成」という歴史的瞬間に立ち会おうとしています。

2. 地区委員会と各クラブの連携強化

地区委員会には、クラブ支援をする大切な役割があります。
地区への相談窓口「クラブ管理運営委員会」を設置。

3. 取り戻そう「ロータリーの心」

そして伝えよう「次世代を担う青少年へ」。
ロータリーの「人の役に立とう」と言うサービス精神は、112年経った今も健在です

CONTENTS

●ガバナーメッセージ	1	●日本人親善朝食会のご案内	13
●第46回ロータリー研究会に参加して	3	●新会員のご紹介／お詫びと訂正	14
●ロータリー財団地域セミナーに出席して	4	●ハイライトよねやま	14
●ロータリーの意義	5	●ロータリーコーディネーターNEWS	15
●第45回ローターアクト地区協議会をおえて	6	●米山奨学生のご紹介	16
●ローターアクト第1回会長幹事会	7	●米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付	16
●ライラック衛星クラブの今後について	8	●地区カレンダー 1月・2月	17
●ガバナーノミニー決定宣言	9	●出席率・会員数	18
●ガバナー公式訪問報告	10	●文庫通信	19



新年を迎えて

国際ロータリー第2510地区

2017-2018年度ガバナー **國立金助**
(函館RC)

新年あけましておめでとうご座います。

本日は、函館八幡宮へお振りし、第2510地区ロータリアンのご健康と皆様にとってすばらしい年になりますことをお振りして参りました。

皆様のご協力のお陰で7月1日から半年間ガバナーを勤めさせていただきました。心から感謝申し上げます。

思えば69クラブ訪問に際しては、各クラブより本当に温かい歓迎をしていただき、今、一人一人の顔を思い浮かべ、感謝致しております。私にとりまして、生涯の宝となりました。そして、地区大会には、約束通り、各クラブよりたくさんのロータリアンにお集まりいただきました。心よりお礼申し上げます。今、改めて第2510地区南の端にある函館に出向く大変さが身体で分かる様になりました。心よりお礼申し上げます。

お陰様で地区大会では、サブテーマを「取り戻そうロータリーの心」と決め、講演を、それにふさわしい講師にお願いする事ができました。

記念講演には元R I 理事 千 玄室様、地区指導者育成セミナーには2012-13年度 R I 会長 田中 作次様、元R I 研修リーダー 中村 靖治様、そしてR I 会長代理には第3490地区(台湾)姚 啟甲様を迎えての大会となりました。

R I 会長代理 姚 啓甲様は、ご挨拶の中で、1935年、ポール・ハリスがつづった言葉を紹介しました。「世界は絶えず変化しています。私たちは、世界と共に変化する心構えがなければなりません。ロータリーの物語は何度も書き換えられなければならないでしょう」。私もまったく同感です。

ハリスがこの言葉を書き残して以来、世界は大きく変わり、ロータリーも大きく変わり

ました。特に変化の激しい現代社会においてこそ、もう一度、原点に返って、R I 会長が掲げた今年のテーマ「ロータリー・変化をもたらす」に邁進しましょう。

ロータリーが他の団体から一線を引く要素でもある「高い倫理基準」を是非とも維持していただきたいと思います。論語の中に「金持ちになつても礼を忘れない人」「富而好禮」と言う言葉がありますが、富がどのくらいであろうと、驕れることなく、温かい心を持って社会に貢献することにより、尊敬に値するものです。これが、まさしくロータリアンですと、すばらしい言葉を残しております。

会長代理 姚 啓甲様・千 玄室様・田中作次様・中村靖治様からいただいたお言葉は、地区大会サブテーマ「取り戻そう・ロータリーの心」としてDVD化し、各クラブへ配達させていただきました。クラブでご利用していただこうと願っております。

また、昨年の暮れには、第2510地区にとって大変すばらしい出来事がありました。我々地区のリーダーであります伊藤 義郎様(1977-78年度ガバナー・元R I 理事)が旭日重光章・産業振興功労賞を受賞されました。我々ロータリアンにとっては、大変な名誉なことであります。

また、ロータリーの友12月号29ページに載った伊藤義郎様の父上、豊次様の時代よりロータリー米山奨学委員会の為に尽くされた記事を拝見してとても感銘し、心からロータリアンとして尊敬できる人物が私共の身近なところにおられる事に……私の勉強不足を恥じております。

さっそく12月9日の指名・諮問委員会にてパストガバナー、そして第2510地区的ロータリアンの皆様を代表して心からのお祝いの花束を差し上げさせていただきました。

以下に、諮問委員会での花束贈呈の際の様子と北海道新聞 11月3日に掲載された記事、そしてロータリーの友 12月号 29ページに掲載された記事を掲載させていただきます。

●北海道新聞 11月3日号朝刊掲載

- 12月9日に行われた指名・諮問委員会の際に伊藤義郎パストガバナー（右）へ、國立ガバナーより花束が贈呈されました。





**元札幌商工会議所会頭
伊藤義郎さん(90)――札幌市**

1956年に伊藤組社建
社長、2002年に会長に
就き、08年から名誉会長。
「受章は突然のこと(驚き
ました)と、ほほ笑む。
道内経済界の重鎮。72年

道内発展へ東奔西走

の札幌五輪招致活動をはじめ
め、故郷・北海道の発展の
ために一と取り組んできた
活動は多方面にわたる。建
設業界をけん引して社会資
本整備に尽力したほか、ス
ポーツや医療、国際交流の
分野にも貢献。北海道商工
会議所連合会会頭や札幌証
券取引所理事長、全日本ス
キー連盟会長など多くの公
職を務めてきた。
現在も国内外飛び回る
多忙な日々を送る。「自分
でもよくやつていいなど思
います。支えてくれる家内
や娘たち家族のおかげで
「す」と感謝する。

●ロータリーの友 12月号 29ページ掲載



札幌R C会員
1967－71年度
米山記念奨学会理事
伊藤 義郎さん

私の父（伊藤豊次氏）は「ロータリー米山奨学委員会」時代の常務委員だったそうです。今思えば、父は奨学事業というものに、特別な関心を持っていたかもしれません。後に国連難民高等弁務官となる緒方貞子さんが学生の頃、彼女にロータリー財団の国際親善奨学金を勧めたのが父だったと聞いています。

私は米山記念奨学会が財団化された当時の理事を務め、その後、1986－88年度にR I理事、89－92年度にロータリー財団管理委員を務めましたが、米山に関して、強く心に残る思い出があります。

財団管理委員だった頃、その委員会で米山の話題となり、「ロータリーの名前で寄付を集めてよいのは財団だけなので、やめさせるべき」という話になりました。日本に帰って、当時の米山記念奨学会理事長だった湯浅恭三さんに伝えたところ、「日本のロータリーの創始者である米山梅吉さんを記念した大事なプログラムなので、何とか説得しようじゃないか」と。それで、

私は再度アメリカに赴き、発足の経緯や趣旨をR I会長と事務総長にじかに説明しました。最終的に、イギリスのロータリーにも米山のような財団があると分かり、当時のR I理事会と財団管理委員会で、米山とそのイギリスの財団の2つは認めよう、ということになりました。こうして日本独自の、ロータリーの奨学事業として認められたわけで、これは米山の歴史にとっても、大きな一步であったと思います。

私は近年、米山への寄付を毎年続けています。その時々に思いついたように寄付をするよりも、可能な範囲で続けていくのが良い、他の人にもそう勧めたいと思ったからです。戦後、米山梅吉さんを記念して何か始めようとした時、奨学金を通じて新しい日本をアジアの人たちに知ってもらおうと考えたのは、本当に良かったと思います。相互理解を広げることにもなりますし、これは継続すべき事業だと思っています。





第46回ロータリー研究会に参加して

国際ロータリー第2510地区

ガバナーエレクト 小山 司
(札幌RC)

東京都台場のホテルにおいて11月22・23の両日、第46回ロータリー研究会が開催されました。元、現、次期RI役員とそのゲストが参加し、RIとその財団の方針やプログラムに関する情報の提供と討論が行われる年次会合です。招集者は斎藤直美、石黒慶一両国際ロータリー理事で、Ian H.S. Riseley国際ロータリー会長ご夫妻、TRF管理委員長Paul A. Netzel氏、元国際ロータリー会長D.K. Leeご夫妻、Gary Huangご夫妻をはじめとして、国内外の理事経験者が来賓として参加しました。登録参加者はガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーとガバナー補佐等の地区シニアリーダーを含めて550名を超みました。我が第2510地区からは國立金助ガバナーご夫妻をはじめとして、伊藤義郎元RI理事、小林 博PG、塚原房樹PG、酒井正人PG、渡邊恭久PG、熊澤隆樹PG、羽部大仁PG、嵯峨義輝PG、武部實PG、福田武男GNご夫妻、玉井清治地区委員長、そして私・小山 司GEと妻の合計15名の参加登録がありました。紙幅に限りがある事から、研究会の内容についてプログラムをなぞりながら、そのあらましを紹介することとします。詳細については後日発刊されるロータリー研究会報告書をご覧ください。

研究会第1日目の午前は開会式に続いてRI理事会近況報告、RIの5ヶ年財務見直し計画、RIロータリー財団近況報告、RI会長エレクト指名委員会報告、トロント国際大会のご案内、続いて国内の各種報告に移り、ロータリー日本財団報告、ロータリー米山記念奨学会報告、ロータリーの友報告、ロータリーワークショップ委員会報告、ロータリー日本100年史委員会報告、日本のロータリー100周年実行委員会報告、2017年規定審議会報告、日韓親善会議報告、日台親善会議報告が行われました。

第1日目午後はIan H.S. Riseley RI会長による基調講演「ロータリーに変化をもたらす」に引き続き、Paul A. Netzel TRF管理委員長による基調講演「ロータリー財団の新世紀に向けて」がありました。

続いて、第1セッションは酒井正人モデレーターにより「日本のロータリー100周年を迎えてもう少しの努力」と題したフォーラムが行われ、パネリストには森田富次郎東京

RC会長、松本祐二ポリオ撲滅ゾーンコーディネーター、岡部一輝PG、ロータリーコーディネーター若林紀夫PG、ロータリーコーディネーター水野功PGにより、東京RCの歴史とその意義、ポリオ撲滅活動の現況、財団寄付0クラブの達成、ロータリー平和フェロー、米山記念奨学生の育成、ロータリー100周年のアンケート調査について、それぞれ説明がされました。

第2セッションは「日本の元気なクラブ」と題してロータリーコーディネーター田中正規PGがモデレーターとなり、パネルディスカッションが行われました。パネリストは滝川RC山口清悦会長、東京米山友愛RC関博子特別代表、大阪南RC藤井眞澄元会長で、「元気なクラブ」として高く評価された活動内容が紹介され、参加者の関心を集め多数の質問が出されました。

研究会第2日目第3セッションは「変化をもたらす日本のロータリーの将来ビジョン」と題するパネルディスカッションがあり、若林紀夫PGがモデレーターとなり、横山守雄ロータリー公共イメージコーディネーター、舟木いさ子ロータリー財団地域コーディネーター、刀根莊兵衛PGの3人のパネリストから、それぞれクラブ運営の多様化、青少年育成、職業奉仕概念の3重要課題に関して、将来の方向性が論じられました。続いて、RI会長、TRF管理委員長、RI理事により、参加者の質問に答える形でオープンフォーラムが行われました。

第2日目午後は慶應義塾大学先端生命科学研究所所長の富田勝教授による『「脱・優等生』が切り拓くニッポンの未来』と題した記念講演があり、ロータリー研究会は閉会となりました。

今回の研究会はロータリー財団100周年、2016年規定審議会の翌年に開催され、さらには日本のロータリー100周年記念行事を控えていることもあり、ロータリーの転換期を意識したプログラムの内容となっていました。国際ロータリーや財団活動の現況と方針を総覧できる良い機会となりました。第2510地区の会員の皆様と共に考え、行動しながら、これからロータリーの在り方を追求していく決意を新たにした次第です。



ロータリー財団地域セミナーに出席して

地区ロータリー財団委員会

委員長 丸山淳士
(札幌真駒内RC・PG)

2017年11月20日、グランドニッコ一東京台場において、ロータリー研究会に先立ち財団セミナーが開催された。

当地区からは、第一ゾーンの役員として、羽部大仁PGが朝早くから受付業務に汗を流しておられた。

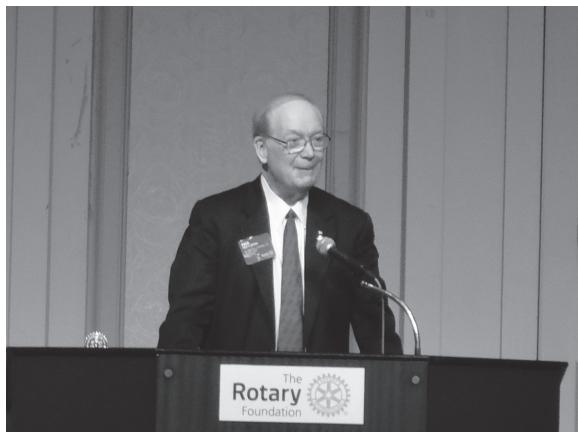
今回は、TRF管理委員長のポール・ネツエル氏が出席され、ロータリー財団の最新情報の講演をされた。

公益財団法人ロータリー日本財団からは、千玄室理事長が都合で欠席されたため、渡辺好政副理事長が現況報告をされた。

第2ゾーンボリオ撲滅コーディネーター坂本俊雄氏によるボリオ撲滅の現況報告があり、あと一步の撲滅への協力を呼びかけられた。

午後からはグローバル補助金の活動報告、ロータリー平和フェローについて辰野克彦コーディネーターと宮崎洋市郎コーディネーター補佐が現況報告をされた。

財団への寄付の現況について、第2680地区の大室氏より詳細な発表があった。2013年の手続き要覧で、ロータリー財団への強制的寄付の禁止が明示され、自発的寄付であることが確認されている。最後に「たった一人でもできことがあります。自分を過小評価しないでください。世界に変化をもたらそうとするなら、ただ想いを募らせるだけでなく、それに向かって資金を提供してください」と締めくくった。



TRF管理委員長 ポール・ネツエル氏

第2ゾーンカードコーディネーター関博子氏から、ロータリーカードの現況報告と更なる推進についての報告があり、最後にオープン・フォーラム（質疑応答）が第2ゾーンRRFC舟木いさ子氏をコーディネーターとして行われ、R I理事 斎藤直美氏の講評で閉会した。



ポール・ネツエル氏講演





ロータリーの意義

地区職業奉仕・基本理念委員会

委員長 玉井清治
(函館亀田RC)

新年おめでとうございます。

今日は職業奉仕月間です。是非、皆様のクラブで積極的に職業奉仕を語り合ってください。

皆様がよく口にする「わかりづらい職業奉仕」ですが、「職業奉仕」を辞書で引いても残念ながら出てきません。出てこないということは「造語」ということです。辞書にないということは、答えは人それぞれです。なんとわかりにくい翻訳と言いますか造語にしたものでしょう。お金を稼ぐ行為と、見返りを求める行為、利己と利他の相反するエネルギーを持つ単語を繋ぎ合わせて「職業奉仕」といっているのですから、わからないのは当然だと思います。

ロータリーはアメリカで生まれました。アメリカには「チップ」という文化があります。食事をしていても、何度も「美味しいですか?」「いかがですか?」と愛想良くボーイが聞きに来ます。そして、支払いの際に15%相当の「チップ」を彼に支払い、彼は当然のように満足げにお客を見送ります。サービスとチップは完全に繋がっています。日本にはそのような文化はありません。「奉仕」と「お金」は、脳の細胞が接続を拒否してしまいます。このように国や文化、歴史の違いがあるので、Vocational Service をロータリー120万人の理解が一致するほうがおかしいと私は思います。

さて、ロータリアンがロータリーの中で自己研鑽をして、自らがその受益者となるということがロータリーが長年栄えた要因です。ロータリアンがロータリーの中で学ぶ姿勢を失うとそこから何の利益も得られず、例会は単なる食事会に終わってしまう事になります。日本のロータリアンは13万人をピークに9万人以下にまで落ち込みました。退会理由のアンケートで一番多かったのは、「ロータリーの意義がわからない」です。私たちは再度クラブ内で「意義とは何か」を話し合う必要があるのではないかでしょうか。

日本で最初のロータリークラブは「東京RC」です。創立からまもなく100周年を迎えるにあたって、先々月「森田富治郎 東京RC会長」は次のようなお話をされましたので、ご紹介いたします。

<歴史と意義を考える>

まもなく創立100周年を迎る東京RCとしてはその歴史を誇りとし、先人の足跡に敬意を表すとともに、将来に向けて環境の変化を乗り切る新たな道を切り開いていかなければならないと考えております。

そこで、今後の方向性の柱について以下のとおり申し上げます。

①ロータリークラブ創生の原点にこだわる。

すなわち、職業を通じての社会へ奉仕する。それと広く社会へ奉仕する。特に「職業奉仕」の重視であります。ポールハリスがロータリークラブ創生を志した時の立脚とは、20世紀初頭のシカゴビジネス界における商業道徳の乱れの中での正しいビジネス。世のためになる職業活動を提唱する倫理運動でありまして、そこから更に広く社会への奉仕に展開したのであります。この「全うな仕事」をしよう、「世の中のためになろう」という人間としての根源的な善意を原点とするがゆえに1905年から今日まで112年宗教運動でもなく、政治運動でもなく、金儲け目的でもないロータリー活動が維持されたのだろうと思います。この原点からはずれたただの仲良しクラブになってしまえば、存立のための背骨を失うということになると思います。職業奉仕・社会奉仕への立脚という理念とそれを支える友情と寛容の精神、そして理念実践の裏付けとしての活動への積極的参加。例会重視という行動原則を大切にしていきたいと考えております。

②職業基盤維持のための努力

職業奉仕を価値の中心に置くためには企業の存続と発展が必須であります。厳しさを増す環境の中で、その鍵となるものは何か?過去の日本企業の発展は人口増加という条件に支えられてきました。その条件が人口減少という逆転状況によって失われた今、そこを乗り越えるためのパワーは人の繋がり、企業の繋がりに求めらざるかと思います。人口減少は労働力の減として生産のマイナスに繋がると同時に商品やサービスの買い手の減少をもたらします。買い手が減るのであれば販売先を広げる。新しい商品や販売手法を考える。そのために、他人の知恵や力を積極的に借りる。人手不足についても、他人の力をどう活用するかを考える。少子化といいますと、生産性向上とか、イノベーションとか、A.Iとか、I.O.Tとか、いろいろな言葉が飛び交います。しかしながら一人で考え込んでいても有効な答えがどんどん見つかるというものではありません。人の知恵を借りる。力を借りる。そこから新しいパワーが生まれると考えております。ロータリークラブの付き合いの中から得られるものも多いのではないでしょうか。そういう思いも含めて東京RCの今年のテーマを「繋げる・繋がる」としています。

-2017年11月22日 ロータリー研究会第1日目
第1セッション講演内容より抜粋-



第45回ローターアクト地区協議会をおえて

地区ローターアクト委員会

委員長 川下和光
(札幌幌南RC)

昨年9月30日、函館市にて函館大学ローターアクトクラブホストでローターアクト地区協議会が開催された。

今回の地区協議会開催にあたり、当日ご参加賜りました第10グループガバナー補佐石川 強様をはじめ、多くのロータリアンのみなさまには感謝申し上げると同時に、大会当日まで準備等お手伝い頂きました提唱クラブであります函館東ロータリークラブの皆様にも感謝申し上げます。

今回のローターアクト地区協議会では、パネルディスカッション及びグループディスカッションを行いました。

パネルディスカッションでは、当地区ローターアクトOBの畠井 福太郎様にパネラーとして参加いただき、現役ローターアクト代表として、地区副代表石川 樹君にも登壇いただき、今と昔のローターアクトの違いをお話いただきました。今回のパネルディスカッションの意図としてご参加いただいたロータ

リアンにも当地区アクトの現状を少しで知つていただく事が出来ればと思いましたが、予想以上の反応をいただき、一つ成功したかなと思います。

グループディスカッションでは、会員増強・新規クラブ設立・全国ローターアクト研修会に向けてと題し、各グループでは、ローターアクトの意見や発想に対して、ロータリアンからのアドバイスを得て様々なこたえが出てきて、改めて色々と学ぶことが出来ました。

今回は、本当に沢山のロータリアンにご参加いただき誠にありがとうございました。これだけローターアクトに対してご期待をいただけているということを、ローターアクトのメンバーと改めて実感し、今後ともアクトの活動等を地区内外にどんどん発信していきますので、これからもご指導ご鞭撻をいただければ幸いです。

誠にありがとうございました。



『ローターアクト第1回会長幹事会』

国際ロータリー第2510地区ローターアクト

地区副代表 石川 樹
(赤平RAC)

昨年7月8日(土)に北海道立道民活動センター「かでる2・7」にて、今年度初の会長幹事会を開催いたしました。

義務出席者である当地区ローターアクト地区役員や各ローターアクトクラブ会長・幹事、川下地区ローターアクト委員長ほか、地区ローターアクト委員の皆様に加え、小山ガバナーエレクトをはじめ地区役員、提唱ロータリークラブの皆様にもお越しいただき、多くの議題について話し合いました。

当日は、村山地区幹事が中心となり議事進行を務めました。主な議題は、地区運営規約の改正、決算報告および予算案の承認、今年度活動計画の確認、海外研修の訪問先および準備のスケジュール等で、各ローターアクトクラブからの意見やロータリアンの皆様の助言もあり、滞りなく議事を進めることができました。また、迅速かつ正確な地区運営のため、各地区役員から締切遵守等のルールの確認、ローターアクトやロータリアンの皆様のほか一般の皆様にも広く周知できるよう、活動報告書の様式変更やホームページ等の公表スケジュール等についても確認しました。

さらに、西方地区青少年奉仕委員長から、9月9日開催の青少年奉仕プログラムによる植樹についてもお話をあり、当地区ローターアクトとしても奉仕活動を通じて、国際ロータリーが目指す環境保全の取り組みに少しでも貢献できるよう、多くの会員で参加したいと考えております。

今年度、山下地区代表は、「Cultivate sensitivity」という地区ターゲットを掲げました。これは、直訳すると「感性を磨く」という意味になります。会員一人ひとりが、組織の一員として「相手がどう感じているか、自分は何を求められているか」といった感性や気づきを得て、自分の価値観の幅を広げていく1年にしたい、という決意が込められております。

私事で恐縮ですが、前々年度地区代表を仰せつかった際、地区幹事を引き受けてくれたのが山下地区代表であり、迅速かつ正確に役目を果たし、力不足な私を最後まで支えてくれました。その時の大きな恩を返すことができるよう、そして、山下地区代表が掲げた地

区ターゲットや重点目標が一つでも多く実現できるよう、山下地区代表を支え、ローターアクトに貢献できるよう努力する所存です。

今後の当地区ローターアクトにおいては、2020-2021年度において「全国ローターアクト研修会」という大規模な行事のホストを担う予定です。長期的な視点にはなりますが、会員増強および新しいローターアクトクラブの創設が大きな課題となっていることから、積極的な周知広報をはじめ、知人等の勧誘を重点的に行ってまいります。ロータリアンの皆様には、さまざまな場面でご支援、ご協力を賜ることがあるかと存じますが、力を貸していただければ幸いです。

最後になりますが、今年度もロータリアンの皆様とともに、各ローターアクトクラブと手を携えながら、たくさんの奉仕活動を行っていきたいと思います。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。





ライラック衛星クラブの今後について

地区クラブ支援委員会

委員長 渡邊葉子
(札幌西北RC)

早いもので、國立金助ガバナ一年度も残り半期となりました。新しい委員会として設立され、これまでのクラブ奉仕とは少し違った角度からのアプローチを試みてまいりました。どのクラブも足早にやってくる高齢化社会を肌身で感じ、自由度の増したクラブ運営をどのように改革するか手探り状態なのではないでしょうか。各クラブの地域性・歴史等を踏まえ、更なる発展を祈念いたしております。

国際ロータリー第2510地区に羽部ガバナ一年度(2014-15)初めて設立されたライラック衛星クラブが3年目を迎え、次年度には独立するか解散するかを迫られ、独立する方向で動いております。札幌幌南ロータリークラブに設けられた独立支援委員会、深貝亭委員長を中心に準備を進められておりますが、現在ライラック衛星クラブの会員数は12名です。独立には、20名の会員数が必要です。何(か)暁光議長(会長)はじめ、会員の皆様は独立を強く望み、会員増強に励んでおられます、仲々厳しい状況です。クラブ支援委員会もサポートさせて頂いております。1月に2名入会予定ですが、あと6名何とかしたいと努力中であります。第2510地区としても、1クラブ増えること、そのクラブが若者で構成されていること、多国籍な会員で構成されていること等、今後の地区活動を考えるうえでも是非独立を果たしていただきたいと思います。ライラック衛星クラブ会員増強に向け、皆様のご支援よろしくお願い致します。

【入会金30,000円・年会費60,000円】

今後は、情報公開の重要性が増すと考えられます。クラブの独自性、特徴あるクラブ作りには、他クラブが何をしているかを把握した上での改革となります。1月27・28日に行われる新会員合宿セミナーは、クラブ間交流の意味でも多数の参加をお願い致します。

クラブ支援委員会、今年度活動方針の1つに「ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI : The Rotary Leadership Institute)へ地区として参加することを視野に会員各位のご理解を深めていただく」と致しました。11月にRI第2830地区で行われましたRLI講習セミナーに当地区から、福田武男エレクト・玉井清治職業奉仕・基本理念委員長・私の3名が参加致しました。2日間で、RLIカリキュラム パートI・パートII・パートIIIをこなすハードスケジュールでしたが、大変有意義なセミナーでした。第2580地区(東久留米)からも4名が参加され、私たち同様、地区としてRLI参加を視野に体験されておりました。ロータリー精神・リーダーシップ戦略・合意(コンセンサス)形成等を学び、自己のロータリアンとしての成長と強いクラブ作りへの参加意識が強化されたと感じております。2月に行われるパートI 第2790地区(千葉)へ現在3名の委員が参加希望ですので、より一層理解を深め会員の皆様へ情報を提供して参りたいと存じます。

ガバナーノミニー決定宣言

2020-2021年度国際ロータリー第2510地区ガバナーノミニーの選出については、地区ガバナー指名委員会より福井敬悟君（札幌手稲RC）が選出された旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第14条第2節(14.020.ガバナーの指名手続)に基づき、福井敬悟君を2020-2021年度第2510地区ガバナーノミニーとすることを決定し、ここに宣言致します。

国際ロータリー第2510地区
2017-2018年度ガバナー 国立金助
(函館RC)

2020-2021年度ガバナーノミニー



会員名 福井 敬悟 (札幌手稲RC)

生年月日 1949年1月21日 (68歳)

職業分類 金属部品加工販売
富久居産業株式会社 代表取締役社長

学歴 1972年3月 日本大学経済学部卒業

職業経歴 1972年4月 中央物産株式会社入社
1974年12月 " 退社
1975年1月 富久居産業株式会社入社
1977年2月 常務取締役就任
2000年10月 代表取締役社長就任

ロータリー歴 1985年3月23日
札幌手稲ロータリークラブ入会
2006-07年度 会長
2010-11年度 第4グループガバナー補佐
2015-16年度 出席100%30年表彰者
2017-18年度 財団奨学金委員会副委員長

その他 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (4回)
米山功労賞 (4回)

ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますのでご了承下さい。

江別西ロータリークラブ

8/8木

8月8日(火)、野幌町のセレモニーホールはやし野幌にて、國立ガバナー公式訪問例会を開催しました。

午後4時から國立ガバナー、大森会長他役員との懇談会、午後5時からクラブ協議会、午後6時から公式訪問例会を開催、ガバナーからは、30名規模のクラブとして大変よく個性ある活動をされていると評価をいただきました。

例会には、優子令夫人、久保地区幹事、山本第3グループガバナー補佐をはじめ、役員の皆様のご臨席をいただき大変感謝申し上げます。

國立ガバナーご夫妻から各会員へ気さくにお声をかけていただきました。大変ありがとうございました。特に120万本植樹活動への参加要請については、参加することで方針決定しており、第3グループの一員として積極的に取り組んで参ります。

また、懇親会後の二次会にもご夫妻で参加いただき、会員との交流を深めていただきました。



苫小牧東ロータリークラブ

8/17木

8月17日(金)、國立ガバナー、佐藤ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

午前9時50分から國立ガバナー、佐藤ガバナー補佐を迎えた会長幹事懇談会を開催致しました。

当クラブ活動状況をスライドにて説明させていただきました。

その中で、小学校(バドミントン地区大会の開催)、中学校(職場見学)、高校(交通安全啓蒙講話)、大学(アイスホッケー交流大会)、苫小牧市のゼロゴミ(053)運動に賛同した活動、グアムにて参加しておりますクリスマスドロップ作戦等を説明致しました。

國立ガバナーよりの「今年度の新事業を考えていますか」との間に、会長は現在の事業継続に重点を置くと返答致しました。

午前11時からのクラブ協議会では各委員の活動計画発表後、國立ガバナーより講評を頂きました。

その後の例会では卓話を頂き、楽しいひと時を過ごす事ができました。卓話の中で総評として当クラブ活動に対しましておほめの言葉を頂きました。

國立ガバナー、佐藤ガバナー補佐、貴重な時間をありがとうございました。



様似ロータリークラブ

8/22火

8月22日(火)、國立金助ガバナー、藤井方雄ロータリーの友地区代表委員、第8グループ小林栄一ガバナー補佐を迎えて公式訪問例会が行われました。

懇談会では、当クラブの活動報告、運営方針等を説明させて頂き、ガバナーからは、ボリオ撲滅運動や120万本植樹事業等について話されました。

また、当クラブへの貴重なアドバイスを頂きました。今後の活動に役立させて頂きたいと思います。

和やかな雰囲気の中、大変有意義な時間となりました。

お忙しい中、当クラブをご訪問いただき、誠にありがとうございました。



美唄ロータリークラブ

9/21木

9月21日(木)、國立金助ガバナー、第3グループ山本公彦ガバナー補佐、坂本修康地区副代表幹事、赤山登ガバナー補佐幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が開催されました。

16時より、ガバナー、ガバナー補佐、副代表幹事、ガバナー補佐幹事、会長、幹事との懇談会が行われ、クラブの現状や今後の方針についてお話し頂きました。

ガバナーより親身なお話も聞けて、和やかに1時間が経過し、その後17時より、クラブ協議会では、開催各委員長より今年度の活動計画の説明がなされ、國立ガバナーより所感を頂きました。

会員全員参加による写真撮影の後、國立ガバナーより卓話を頂き、その後、夜間例会としてガバナー、ガバナー補佐、副代表幹事、ガバナー補佐幹事を囲んで懇親会を開催いたしました。

会長、幹事共にロータリー歴が浅く、不手際があったと思いますが、温かいお言葉も頂き感謝しております。

また、7月29日に永眠致しました財団米山委員会委員長の吉村誠治会員宅を弔問に訪れ、奥様が大変感謝しておられました。

ハードスケジュールの中、当クラブを訪問頂き、心より感謝申し上げます。



北広島ロータリークラブ

9/26火

9月26日に國立ガバナー、福田ガバナー補佐、吉川副代表幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

会長・幹事懇談会、クラブ協議会ではクラブの活動計画について継続事業が主で新しい取り組みがなかなか出来ない事、会員増強についてなど問題点を発表しました。ガバナーより、北広島市で望んでいることが何かを知り、出来る事のお手伝いをし、また補助金の申請について、会員増強にはまず楽しい例会にするなどのアドバイスを頂きました。今年度米山奨学生のホストクラブとして初めての受け入れなど、少ない会員で手分けしての活動に講評頂き、今後の励みとなりました。

例会の卓話では、配布されたポスター3枚の説明をされ、職場での掲示によりロータリーを知って頂けるよいきっかけになること、120万本の植樹についてなどお話しされました。

公式訪問には、ガバナーご自身が車を運転され、ご夫人がナビでサポートされていると伺い、ガバナーのそのパワーに、自分たちも考えるばかりでなく、行動しようと大きな刺激を頂きました。ご多忙中の訪問ありがとうございました。



滝川ロータリークラブ

9/28木

滝川ロータリークラブのガバナー公式訪問は9月28日。

当日は、午前10時より例会場であるホテルスエヒロで、國立金助ガバナーと第2グループ佐藤正一郎ガバナー補佐をお招きして当クラブ幹部との懇談会で始まりました。

11時よりクラブ協議会にご出席いただき、ご挨拶を頂戴した後、各委員長より今年度の活動計画についてご説明致しました。ガバナーからの講評では、特に広報活動についてお褒めの言葉を頂きました。

例会においては、R I 会長とお会いした際のエピソードや1月に行われた国際協議会の模様を臨場感たっぷりにお話頂いた後、全世界で120万本の植樹を提唱するに至った経緯や、道民の森で行った1,500本の植樹の様子、第2510地区69クラブの情勢と会員数の現状、そして、日本におけるゾーンの見直し、更に本年度各クラブ会員に配布されたポスターの意義などについて大変興味深いお話を頂きました。



江差ロータリークラブ

10/24水

10月24日(火)、國立金助ガバナー、森川順治地区代表幹事、藤井方雄ロータリーの友地区代表委員、第11グループ黒島一生ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

午前10時からの会長・幹事懇談会では、赤石会長より、当クラブの特徴と活動内容、特に長年活動してきた「ロータリーの森」への植樹や管理の取り組み方を説明させて頂き、國立ガバナーからは今年度のR I会長が提唱している「120万本植樹事業」にリンクしていると、評価、激励の言葉を頂きました。

午前11時よりのクラブ協議会では、各委員長より活動の進捗状況の報告を行い、ガバナーより温かく丁寧なご講評を頂きました。また、小規模クラブならではの工夫についてもご理解を頂き、クラブの自主性についてアドバイスを賜りました。

午後12時30分より始まった例会では、ガバナーより卓話を頂き、特に「地域にとってロータリーとは何なのか、地域に理解してもらう社会奉仕活動が重要な活動である」との情熱あふれるお話に聞き入り、会員一同感銘、認識を新たに致しました。大成功のうちに終了した函館の地区大会への登録に対し、お礼の言葉も賜りました。

例会から出席の棚田名誉会員と共に写真撮影をし、和やかなうちに終了致しました。

國立ガバナーの気さくで温かなお人柄に魅了された公式訪問例会でした。有意義な時間を頂き誠にありがとうございました。



森口一タリークラブ

10/25水

10月25日、國立ガバナー・第10グループ石川ガバナー補佐、森川代表幹事、吉川副代表幹事、大槻幹事、藤井ロータリーの友地区代表委員をお招きしての公式訪問となりました。

午前10時よりの会長幹事懇談会では、國立ガバナーへ、当クラブの特徴及び活動状況を報告させていただき、いろいろなご質問をいただきました。

特に当クラブは若いメンバーが多いこと(平均年齢51歳)に興味をもたれ、若手会員増強の方法や現在の活動状況をお答えいたしました。

11時よりクラブ協議会の開催となり、各委員長より活動計画の発表と現状を報告させていただきガバナーより、各委員長へ大変丁寧な講評をいただきました。

12時からの公式訪問では、ガバナーより、熱きロータリー論を若いメンバーへ、予定より30分以上お話ししていただき、大変有意義な公式訪問となりました。

ガバナーより頂戴いたしました激励とパワーを今後の当クラブ活動への活力として生かさせていただきたいと思います。大変忙しい中、当クラブへおいでくださいました國立ガバナーをはじめ地区役員の皆様、誠にありがとうございました。



函館亀田ロータリークラブ

10/30月

10月30日(月)、國立ガバナー、石川強ガバナー補佐、森川順治地区代表幹事、松本秀雄地区幹事の皆様にご訪問をいただきました。

午前10時よりの会長・幹事懇談会では、川北会長から当クラブの現況と今年度の運営方針を報告し、今までの奉仕活動を説明しました。

特に、毎年行っている職業・青少年奉仕合同事業の市内の中学生による職場体験は、國立ガバナーより評価と激励をいただきました。

午前11時より始まったクラブアッセンブリーでは、各委員長より今年度の事業報告と進捗状況を発表し、終始和やかな雰囲気の中で終了しました。

12時30分より点鐘と共に例会が始まり、昼食をはさんで國立ガバナーから、R Iのテーマ、地区目標、ポリオ撲滅等についてお話をいただき、今後のクラブ活動に向け有意義な時間を過ごすことができました。

会員一同、心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。



函館北ロータリークラブ

11/8 水

11月8日(水)に國立金助ガバナー、黒島ガバナー補佐、森川地区代表幹事、藤井ロータリーの友地区代表委員をお迎えし、公式訪問が開催されました。

10時より会長・幹事懇談会が行われ、クラブの取組みや現況を説明したところ、國立ガバナーより会員増強、会員の健康増進、函館マラソン大会ボランティアスタッフに関するアドバイスやヒントをいただきました。

11時からのアッセンブリーでは、各委員長より今年度の活動計画を報告し、その後、國立ガバナーより講評をいただき、終始和やかな雰囲気の中で終了しました。その後、公式訪問を記念して写真撮影を行いました。

例会では、國立ガバナーよりロータリーイメージポスター、120万本の植樹、地区テーマに関しての講話をいただきました。お話の中で全道の他クラブの活動事例を伺い、大変参考になりました。大変有意義な時間となり、会員一同心より感謝申しあげます。



函館ロータリークラブ

11/16 木

11月16日(木)、國立ガバナー最後の公式訪問としてホームクラブである函館ロータリークラブに石川強第10グループ担当ガバナー補佐、森川地区代表幹事と共に出でになりました。

午前10時からの会長・幹事懇談会では藤井方雄ロータリーの友代表委員もご出席され、当クラブの会員増強や奉仕活動についてご報告させて頂きました。

午前11時からのクラブアッセンブリーには正副委員長総勢23名が出席し、近々の活動報告や今年度予定されている活動計画を五大奉仕委員長よりそれぞれ報告致しました。

その後の例会では石山地区副代表幹事、吉川地区副代表幹事、鍋谷地区副代表幹事もご出席頂き、4ヶ月半に亘って廻られた地区内68クラブの奉仕活動やクラブ運営などについてご報告頂きました。

挨拶の中で「ここに戻って来られてほっとした」という言葉があり、公式訪問の大変さを改めて感じさせられました。國立ガバナー、長期間本当に疲れ様でした。



日本人親善朝食会のご案内

国際ロータリー理事 斎藤 直美
国際ロータリー理事 石黒 廉一

厳寒の候、皆様には益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。
さて、ご周知の通り、国際ロータリ一年次大会がカナダ・トロントで開催されます。
つきましては恒例の「日本人親善朝食会」を下記要領にて開催します。
奮ってご参加下さいようお願い申し上げます。

【開催日時】：2018年6月24日(日) 開場(予定)AM6:30*
朝食会(予定)AM7:00~8:30*
 ※RI会長の挨拶を予定しております。

※変更が生じる可能性があります。最終的な時刻は、2018年5月以降に通知する最終案内で確定します。

【場 所】： ハイアット・リージェンシー・トロント	【会 費】： 一人 10,000円(着席)
【定 員】： 先着500名	【締 切】： 2018年3月31日(土)

《お問合せ》詳しくは地区ガバナー事務局へ。

新会員のご紹介

(敬称略)



札幌西北RC
前島 治基
11月30日入会
税理士



羽幌RC
住田 直明
12月1日入会
一般自動車販売

【お詫びと訂正】

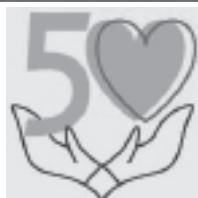
ガバナー月信12月号、3ページの記事に誤りがございました。
深くお詫び申し上げますとともに、
以下の通り訂正させて頂きます。

①タイトル

(誤) 米山記念奨学・学友会総会
(正) 米山学友会(北海道)総会

②新会長肩書

(誤) 米山奨学生学友会(北海道)
(正) 米山学友会(北海道)



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

2017.12.12

ハイライトよねやま Vol.213

ミャンマー米山学友会による「田中作次奨学金」

ミャンマー米山学友会が設立した「田中作次奨学金」の第1回贈呈式が11月19日、ヤンゴン市内の日本語学校で開催されました。この奨学金は、元R.I.会長の田中作次氏から同学友会へ贈られた支援金を基金とし、日本語を学ぶ優秀な学生10人に対して、それぞれ約2万円を奨学支援するというもの。奨学生に選ばれた学生たちは、「看護師を目指したい」「日本語の先生になりたい」など、家族らが見守る中、将来の夢を日本語で発表しました。当日は日本から東京東江戸川RCの会員2人が授与式に立ち会いました。クラブ国際奉仕事業のためミャンマー訪問中だった幹事の嶋村文男氏は、「若者の夢にこちらも胸が熱くな

った。日本へ留学する夢を叶えて、この中から米山奨学生が誕生してくれたら。今後も感謝の気持ちを忘れず、ミャンマーの国づくりを担って欲しい」と、語ってくださいました。



申告用領収書は来年1月にお送りします

ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1~12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。12月29日(金)当会着金分までが対象です。



米山記念奨学会事務局は、12月28日(木)~1月8日(月)の間休業させていただきます。
来年は1月9日(火)より通常業務となります。

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター **NEWS**

2018年1月号

発行 : Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
第1ゾーン担当

今年度のライズリー会長のテーマは「ロータリー：変化をもたらす」であります。ロータリーが岐路に差し掛かっていると言われる現在、我々は変革(Transform)を目指さなければなりません。

去る11/20~11/23に開催した第46回ロータリー研究会には全国から多くのシニアリーダーの皆様にご参加を頂きました。盛会裏に終了できました。研究会では「日本の心をどう世界に発信するか」を基本理念にプログラムを構成して実施しました。幸い参加された皆様から好評を得ましたことは望外の喜びです。

具体的には、セッション1では「日本のロータリー100周年を迎えてのもう少しの努力」(日本のロータリーのこれまでの歴史と将来展望)、セッション2では「日本の元気なクラブ」(それぞれの規模のクラブの努力成果)、セッション3では「変化をもたらす日本のロータリーの将来ビジョン」(世界と乖離しない日本のロータリーの存在意義)の研修を行いました。

国際ロータリー理事 石黒慶一

世界を変える行動人 (People of Action)

○公共イメージに関連するさまざまな課題に取り組むため、ロータリーは今年度、「世界を変える行動人」と題された新たな公共イメージキャンペーンを開始しました。

○ロータリーでは、地域に根付いて活動する会員達が、地元や世界に持続可能な変化をもたらす為に、行動しています。

○公共イメージキャンペーンの目的

1. 認識と理解の間の格差を埋める
2. 「ロータリーとは何か」を定義し、ロータリーによる影響を明確に示す
3. 会員の参加、目的意識、寄付、活動を促すための土台を築く
4. それぞれの地元にふさわしい広告をクラブが作れるようにする

○目的を果たすための戦略

1. People of Action(世界・地域を変える行動人)としてのロータリアンを紹介する。

2. 地域社会に課題・問題があれば、解決策と可能性を見出すロータリアンの姿を表現する。

3. 長期的な解決策をもたらすために、ロータリアン、地域社会のパートナー、専門家がビジョンを共有し、アイデアを交換する姿を示す。

○具体的な戦術…RPICとしての提案(ロータリアン自身が広告塔です。)

1. 身近に「世界や地域を変えたロータリアン」が居て、地域へ紹介されてなければ、商工会議所ニュースや法人会広報誌等を通じて、地域へ紹介して下さい。

2. 地域社会の問題解決の為、ロータリアンは地域社会(ロータリー以外の団体)のパートナーやリーダーと共に積極的に意見交換し、問題解決にご尽力下さい。

○キャンペーンの一環として、ロータリーのブランドリソースセンターから新しい「メッセージ作成ガイド」をダウンロード出来ます。

○このガイドには、すべてのロータリアンが一貫した方法で心に訴えるロータリーのストーリーを伝え、ロータリーへの参加を促す為のメッセージが紹介されています。

○ブランドリソースセンターでは、公共イメージに関するその他のリソースを利用できます。

第1ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 鈴木秀憲

「増強についての思い」

現在の日本ロータリーの会員数は多少の増加傾向にあるものの、40%は30人以下であると言われています。また平均年齢は60歳以上が多く70歳以上のクラブも少なくありません。RIは地区の構成として1地区2700人75クラブ(1クラブ36人となります)が望ましいといっています。会員増強の課題の1つは斎藤RI理事も仰っていましたが、30人以下のクラブの会員数をいかにして増やしていくかだと思います。小人数クラブは元々活動できる会員数が少なく、またその地域での子クラブ、孫クラブ、ひ孫クラブである事が多く、これは親クラブに対してある意味不利になる事でしょう。

1つの参考事例を述べてみたいと思います。昨年2570地区の坂戸さつきクラブは年初会員数18名でスタートして8名増やして増加率44.4%しています。

1)年度会長は就任前から増強に対する強い思い、やる気があり、7月当初に会長推薦で2名入会させています。

(常にパンフレットと入会申込書を持ち歩き、これはと思う人にはロータリーを説明して入会を勧めていた)

2)会長のリーダーシップを意気に感じてクラブ会員一丸となって積極的に勧誘を行った結果7月から11月まで5ヶ月間毎月のように入会者を得ています。

3)退会者(パスト会長)の再入会や7月に入会した新会員による紹介で新たな入会者もありました。

この例から分かることは、会長を始めとしてクラブ会員全員のやる気と普段からの積極的な継続的勧誘奉仕活動があれば増強は確実に出来るという事ではないでしょうか。またクラブ戦略委員会等で目標が決まったならば、会長や増強委員長等が掛けことなく常に増強活動を引っ張り続けていく姿勢の大切さが重要であることを示しています。増強して仲間を増やす事はロータリーの素晴らしい力を広める事になるのです。これは正に公共イメージアップにも通じる事でしょう。

「為せば成る 為さねばならぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり」上杉鷹山

第1ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 坂本元彦

MONTGOL YAWASAWA PRIZE WINNER INTRODUCTION



札幌西北ロータリークラブ ダグワドルジ ラワダマー（モンゴル）

【自己紹介】

- ・在モンゴル日本国大使館秘書、(有) UEC に環境担当、翻訳者勤務
- ・2012年に北海道大学環境科学院修士課程入学後、博士課程に進学。
- 現在3年生

日本での留学目的、研究、将来、日本を感じたこと！

渡日後、日本の高度発展に驚きました。ところで、最近「発展」というのは何だろうと思うようになりました。町並み、道路、住みやすい環境等だろうか？でも、私の単純な考えでは「国民が仕事を継続し、生活するために敵した環境」ではないかと思います。モンゴルの場合は、遊牧民にとって家畜を育てる自然環境が保護されることだろうか？

モンゴル国は草原にいる遊牧民を想像されることが多い。しかし、近年、資源鉱物を通して経済成長を目指し、草原で鉱物を発掘しているため、自然環境及び遊牧民の生活に影響を及ぼしているのが現実です。

ただし、現代科学的研究を行ってこの影響を

明らかにしても、改善することは不足しています。そのために、私は日本の先進研究方法を身につけ、モンゴルの社会問題について研究を進める目的で日本に留学ました。北海道大学での修士と博士課程を通してモンゴルの鉱山現地で企業責任者や住民に面談し、調査を行っています。本研究の結果では、鉱山会社に対する現地住民の信頼は低下していた事例があり、これは本来、住民から鉱山活動の中止を要求する反対運動の原因になるのではないかと考えられます。

将来、博士課程を終了後は研究経験を生かして、現在モンゴルが直面している社会問題について研究を進め、問題解決に実際に役に立つ研究の進歩に貢献したいと思います。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

羽 帆 R C	成澤 卓爾	会員	(4回)	11月 27日
滝 川 R C	神部 洋史	会員	(15回)	11月 1日
滝 川 R C	藤井 謙和	会員	(1回)	11月 1日
滝 川 R C	篠島 弘	会員	(9回)	11月 1日
岩見沢 R C	青木 稔	会員	(1回)	11月 21日
岩見沢 R C	齋藤 誠一	会員	(1回)	11月 21日
岩見沢 R C	中村 興治	会員	(3回)	11月 21日
岩見沢 R C	佐川 修一	会員	(4回)	11月 21日
岩見沢 R C	五十嵐 閣	会員	(5回)	11月 21日

岩見沢 R C	北澤 治雄	会員	(5回)	11月 21日
岩見沢 R C	三嶋 顕	会員	(6回)	11月 21日
岩見沢 R C	大屋 均	会員	(8回)	11月 21日
札幌西 R C	森谷 明弘	会員	(15回)	11月 13日
札幌西 R C	三上 直彦	会員	(13回)	11月 30日
小 樽 R C	津田 哲哉	会員	(2回)	11月 7日
小 樽 R C	泉 侑	会員	(3回)	11月 7日
小 樽 R C	遠藤友紀雄	会員	(1回)	11月 29日
函 館 R C	原 一彰	会員	(2回)	11月 17日

米山功労クラブ	岩見沢 R C	34回	11月 21日
	札幌西 R C	27回	11月 13日
	小 樽 R C	13回	11月 28日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

深 川 R C	成田 雅敏	会員	(3回)	11月 29日
江 別 R C	吉田 欣司	会員	(4回)	11月 28日
岩見沢 R C	中村 興司	会員	(1回)	11月 28日
岩見沢 R C	竹内 友康	会員	(1回)	11月 28日
岩見沢 R C	石田 豊明	会員	(2回)	11月 28日
札幌西 R C	灰野 篁	会員	(3回)	11月 15日

札幌西 R C	森谷 明弘	会員	(3回)	11月 15日
札幌西 R C	上出 利光	会員	(3回)	11月 15日
札幌西北 R C	三上 直彦	会員	(8回)	11月 30日
恵 庭 R C	宮内 光則	会員	(1回)	11月 21日
恵 庭 R C	久野 等	会員	(3回)	11月 21日

ポール・ハリス・フェロー

深 川 R C	吉澤 義彦	会員	11月 29日
江別西 R C	雫子谷 明	会員	11月 8日
札幌西 R C	長谷川美栄子	会員	11月 15日
札幌西 R C	三瓶 広幸	会員	11月 15日

札幌西 R C	新出 俊昭	会員	11月 15日
千歳セントラル R C	彦坂 忠人	会員	11月 8日
恵 庭 R C	横手 義信	会員	11月 21日

地区カレンダー（1月・2月）

1月 職業奉仕月間	
1 (月)	元日
2 (火)	
3 (水)	
4 (木)	
5 (金)	
6 (土)	
7 (日)	2018 年度米山奨学生選考試験（札幌）
8 (月)	成人の日
9 (火)	
10 (水)	
11 (木)	
12 (金)	
13 (土)	
14 (日)	～ 20 日 (土) 国際協議会（米国・サンディエゴ）
15 (月)	
16 (火)	
17 (水)	
18 (木)	
19 (金)	
20 (土)	
21 (日)	
22 (月)	
23 (火)	
24 (水)	
25 (木)	
26 (金)	
27 (土)	地区ガバナー補佐会議（登別） ～28 日 (日) 新会員合宿セミナー（登別）
28 (日)	
29 (月)	
30 (火)	
31 (水)	

2月 平和と紛争予防／紛争解決月間	
1 (木)	
2 (金)	
3 (土)	第9 グループIM（室蘭）
4 (日)	第8 グループIM（様似） 様似RC創立50周年記念式典
5 (月)	
6 (火)	
7 (水)	
8 (木)	
9 (金)	
10 (土)	2018-19年度ガバナー補佐研修セミナー（札幌） 2018-19年度地区チーム研修セミナー（札幌）
11 (日)	建国記念日
12 (月祝)	振替休日
13 (火)	
14 (水)	
15 (木)	
16 (金)	
17 (土)	
18 (日)	
19 (月)	
20 (火)	
21 (水)	
22 (木)	
23 (金)	ロータリー創立記念日
24 (土)	
25 (日)	
26 (月)	
27 (火)	
28 (水)	

2018年1月のロータリーレート

1ドル 114円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2017.7.1	2017.11.30	増	減	
1	深川	3	30	33	3	2	74.20
	羽幌	3	45	43	-2	2	76.74
	妹背牛	4	7	7	0	0	85.71
	留萌	3	34	36	2	3	86.10
	小計		116	119	3	7	80.69
2	赤平	3	29	29	0	2	80.00
	芦別	3	32	32	0	2	74.71
	砂川	5	41	41	0	1	96.92
	滝川	4	87	94	7	4	71.00
	小計		189	196	7	9	80.66
3	美唄	3	29	28	-1	0	79.73
	江別	4	32	33	1	1	76.47
	江別西	3	29	30	1	4	90.00
	岩見沢	4	75	77	2	0	93.61
	岩見沢東	4	19	19	0	2	77.13
	栗沢	3	19	19	0	1	92.60
	栗山	3	26	26	0	4	84.00
	当別	3	27	28	1	0	85.54
	小計		256	260	4	12	84.89
4	札幌	3	117	128	11	2	96.47
	札幌はまなす	3	21	22	1	3	68.18
	札幌北	3	42	43	1	4	86.00
	札幌モニング	3	34	36	2	0	74.98
	札幌西	3	48	51	3	9	76.30
	札幌西北	4	34	35	1	3	78.45
	札幌手稻	3	39	39	0	4	88.78
	小計		335	354	19	25	81.31
	札幌東	4	132	130	-2	0	97.70
5	札幌清田	3	13	13	0	4	100.00
	札幌幌南	3	66	67	1	11	100.00
	札幌真駒内	3	23	25	2	6	100.00
	札幌南	3	85	88	3	1	96.60
	札幌大通公園	2	13	14	1	4	46.40
	新札幌	3	24	24	0	3	85.62
	小計		356	361	5	29	89.47
	岩内	3	21	21	0	1	80.95
	俱知安	3	40	40	0	3	71.00
6	小樽	4	73	77	4	4	78.45
	小樽南	3	67	66	-1	2	97.77
	小樽錢函	3	19	20	1	1	84.20
	蘭越	4	10	10	0	0	100.00
	余市	5	45	45	0	6	82.60
	小計		275	279	4	17	85.00

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数12名(内女性会員6名)を含む

11月出席率・会員増減率	クラブ数	69クラブ
	期首会員数	2,551人
	当月末会員数(女性)	2,637人(161人)
	増加会員数	86人
	当月平均出席率	80.50%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2017.7.1	2017.11.30	増	減	
7	千歳	3	63	70	7	7	80.95
	千歳セントラル	4	43	42	-1	7	70.24
	恵庭	4	48	51	3	3	76.63
	北広島	3	20	20	0	1	81.48
	長沼	3	17	17	0	3	80.39
	由仁	2	7	7	0	0	57.14
	小計		198	207	9	21	74.47
	えりも	2	16	17	1	1	97.05
	三石	4	12	12	0	0	70.00
	様似	3	18	18	0	1	67.59
8	静内	4	69	69	0	4	85.25
	浦河	3	26	27	1	2	79.01
	小計		141	143	2	8	79.78
	伊達	3	60	65	5	1	78.16
	室蘭	4	33	35	2	1	67.16
	室蘭東	4	31	37	6	0	79.10
	室蘭北	4	42	47	5	3	60.11
	登別	5	28	28	0	1	82.14
	洞爺湖	2	10	10	0	0	92.00
	小計		204	222	18	6	76.45
9	函館	4	76	83	7	0	75.18
	函館龜田	3	40	42	2	4	73.17
	森	3	36	36	0	0	70.00
	七飯	4	12	12	0	0	77.00
	長万部	3	8	10	2	0	60.00
	函館セントラル	4	22	22	0	2	79.55
	小計		194	205	11	6	72.48
	江差	2	11	11	0	1	68.18
	函館五稜郭	3	55	56	1	0	78.41
	函館東	4	45	44	-1	7	72.09
11	函館北	3	20	20	0	0	88.24
	北斗	4	13	13	0	0	67.30
	小計		144	144	0	8	74.84
	白老	3	29	29	0	3	67.00
	苦小牧	3	55	60	5	3	76.67
	苦小牧東	4	29	29	0	5	86.21
	苦小牧北	4	30	29	-1	2	96.33
	小計		143	147	4	13	81.55
	合計		2,551	2,637	86	161	80.50

文庫通信

(363号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

新着の文献から

◎「東一郎」	米山梅吉編 1921 124P
◎「ロータリー旅行記」	水嶋峻一郎 1935 28P
◎「職業奉仕の勘どころ」	D.365 1970 39P
◎「素顔のロータリー」	三宅徳三郎 高松RC 1974 85P
◎「落穂集・斎藤堅治パストガバナー講話より」	青森RC 1976 172P
◎「ロータリーの心」	笹氣幸助 仙台RC 1978 9P
◎「決議23-34はロータリーのキイ・ポイントである」	未積 正 関西ロータリー研究会 1985 112P
◎「社会的責任の中心としての職業奉仕」	鈴木憲輔 1994 9P
◎「職業奉仕における「個人奉仕」の意義 個人は良心の座であり創造性と責任感の源泉である」	鈴木憲輔 1995 10P
◎「フォアウエイ・テストは前進する」	大阪RC 2003 39P

(上記申込先: ロータリー文庫)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館／午前10時～午後5時 休館／土・日・祝祭日

表紙の解説

函館は、1854年(安政元年)に締結した日米和親条約により、日本初の国際開港地となった歴史都市です。

そうした経緯もあって、函館市内には「日本で最初」、「北海道で最初」といわれる数多くの建造物や足跡などが現存しています。

月信では、そうした「最初」の数々の中から、13点を選出し、各月の表紙で紹介します。

表紙写真提供／函館中央図書館蔵

Rotary
District 2510

